

PROGRAM NOTE

2022年9月

「ハムフェア2022」に参加して

岡山 植村昭男



2019年以来の開催となったハムフェアに、初日ではありますが参加してきました。出展者入場開始の8月20日(土)8:30に会場入口で、日本短波クラブの大武さんから出展者入場証を受け取りJ-36の日本短波クラブブースへ。

HCJBをはじめ海外日本語放送各局のポスターの飾り付け、ブースへ来られた方にお渡しする資料の準備など、お手伝いさせていただきました。今回から展示パネルがプラスチックに変更され、今までのような画紙留めが出来ず、展示物はテープで貼る形になった

ので手間取りましたが、10:00の開場までには準備完了。開場と同時に、クラブブースにも多くのBCLの方々がお越しくださいました。今年はコロナ禍のため、いつも行っている海外放送に関するアンケートは実施せず、資料はご自由に持ち帰っていただく形式で、今までで一番ゆったりと来場者の方とお話しできました。

クラブの大先輩・赤林さんと林さんとも久しぶりにお話しさせていただき、嬉しいかぎりです。その後は頃合いをみて、会場をひと回り。まずは「令和版新BCLマニュアル」が先行販売されている電波新聞社ブースでお目当てのBCLマニュアルを早速購入。尾崎さんの「HCJB日本語放送の今」も大変興味深く読ませていただきました。書籍以外にもスカイセンサーなどのBCLラジオや部品も販売されていました。各ブースで販売されていたBCLラジオ受信機類は、例年より少なめで寂しい感じでした。その他、あるメーカーではコロナ対策としてブース内を一方通行にするなど今までにない工夫も。



(写真：私の隣は赤林さんと林さん)

11:00過ぎに早めの昼食をいただき、日本短波クラブブースで再び来場者の方への対応のお手伝いをした後、クラブ会員総会、講演会会場の会議棟へ移動。13:30から会員総会、14:00からはいつも楽しみにしている赤林さんの国際放送講演会で、今年は「新時代のBCLスタイル〜リモートSDR〜」と題してのお話を大変興味深く伺いました。インターネット時代ならではのリモート受信について、ユーモアを交え、わかりやすく解説くださり、あっという間の有意義な時間でした。講演会終了後は恒例のブース前で会員の皆さんとの記念撮影。17:00の開場時間までは大武さんや大森さんとも、ゆっくりお話しさせていただきました。コロナ禍の中での開催でもあり、いつもより通路が広めで、ブース数や来場者数が少ない印象を受けましたが、最近オンラインミーティングばかりという事もあり、従来の対面で集まる事の有難さを改めて感じた一日でした。今回、3年ぶりのハムフェア参加でしたが、久しぶりに日本短波クラブや

BCLの皆さんとお会いし、お話しさせていただいた、本当に楽しい一日でした。

注：今年の来場者数は、初日25000人、2日目10000人と発表されました。(大武)

サタデー・トーク

バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送		淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送	
9月3日	クリスチーンのアメカ新発見:バーヂニア州	9月04日	聖書遊覧バス:出エジプト記32章(幕屋建設の指示)
9月10日	南米ふれあいの旅 ブラジル・マリアルバ移住地	9月11日	リスナーからの「お便り交換の時間」
9月17日	マリンバの調べ/希望のことば	9月18日	聖書遊覧バス:出エジプト記33章(モーセの祈り)
9月24日	女ばかり南米大陸に行く(ペルー)	9月25日	聖書遊覧バス:出エジプト記33章14節

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.reachbeyond.jp>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。(mp3形式)

放送時間：日本時間 午前7時半~8時 15410kHz (再放送) 午後8時~8時30分 15565kHz
(米国アリゾナ州制作/オーストラリア送信)

*受信報告書をメールで送る場合：hcjbjapan.office@gmail.com

